区分	■ 新　規　　□ 再提案（　・　・　　総会；　　）			
種類	■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの □ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの □ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの □ その他（　　）	分野	□ 総務文教 □ 社会環境 ■ 経済 □ 危機管理建設	
要望先	■ 国	担当省庁	林野庁	
	■ 県	担当部局	林務部	
	□ その他	名　　称		

件名	**23　ツキノワグマの捕獲強化について**
提案市	伊那市、駒ケ根市
提案要旨	当市では、ここ数年ツキノワグマの出没件数が増加傾向にあり、市民の生活域での目撃情報も多くなっており、令和２年度から３件の人身事故が発生している。(人身事故は伊那市のみ) クマの捕獲檻にはなかなか掛からず、イノシシ檻等での錯誤捕獲が大半で錯誤捕獲された個体はすべて学習放獣を行っているため、地域住民の安全確保の観点からも捕獲強化を要望する。
提案理由	近年、ツキノワグマの人家近くへの出没が増加しており、人身事故も発生している。また、県内のツキノワグマ推定生息数の増加に伴い、錯誤捕獲されるケースも増えている。 錯誤捕獲の個体は、すべて学習放獣を行っているが、人身事故の発生等が懸念され、地域住民の理解が得られなくなってきている。錯誤捕獲の際、再捕獲の個体は学習放獣でなく捕殺できるなど、ツキノワグマの捕獲強化を要望する。
現況及び課題等	ツキノワグマは、県の第５期ツキノワグマ保護管理計画に基づき対策を行っているが、人里近くでの錯誤捕獲も多いことや、人身事故の発生も懸念され学習放獣への理解が得られなくなってきている。また、学習放獣を行うのに１回77,000円と高額な費用も掛かり財政を圧迫している。環境省の資料「クマの捕獲数（許可捕獲数）について」によると、全国でも長野県の非捕殺の割合、頭数とも突出している状況である。 ○ツキノワグマ捕獲数

年度		H29	H30	R１	R２	R３
伊那市	捕獲数	６５	６７	７２	４６	６４
	うち錯誤捕獲	４９	２７	５４	３１	４６
駒ケ根市	捕獲数	１	３	１５	１１	６
	うち錯誤捕獲	１	３	１	３	５

関係法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 長野県第二種特定鳥獣管理計画